

第1回「戦争と医の倫理」の検証を進める会・常任世話人会 会議報告

- ◇日時 2009年12月5日(土) 16時～18時
◇場所 全国保険医団体連合会 6階会議室
◇参加者 石川徹、西山勝夫各代表世話人、小俣和一郎、光石忠敬各常任世話人、住江憲
勇事務局長
(事務局) 室井正、山下芳花各氏
(欠席者) 塩安佳樹代表世話人、赤羽根巖、苮昭三、小島莊明、中泉聡志、車谷容子、肥
田泰、山口研一郎、吉中丈志各常任世話人
◇議長 石川徹代表世話人

◇ 報告・協議事項

1. 第2回世話人会(09.11.3) 会議報告等について

第2回世話人会の会議報告が文書で行われ、了承した。

会のドイツ語名称についても、小俣和一郎常任世話人の提案を了承した(下記参照)。

Gesellschaft für Förderung der historischen und ethischen Untersuchung der medizinischen Kriegsverbrechen Japans (GFUMK)

2. 防衛省への731部隊等に関する資料公開請求要請等について

(1) 要請文については、提案文書の一部修正の上、了承した。

(2) 要請方法については、「731細菌戦部隊の実態を明らかにする会」「15年戦争と日本の医学医療研究会」とも連携して活動することを確認した。

(3) 西山代表世話人から、戦医研として訪中調査活動の際、731部隊被害家族から日本政府への訴え(訴え人:李鳳琴さんの「訴え書」)が託されたことの紹介があり、日本政府への要請に合わせて、政府に取り次ぎたいとの報告があり、了承した。

3. 各団体・個人への賛同と募金のお願いについて

(1) 「参加団体と活動募金ご協力のお願い」、及び「賛同と募金ご協力のお願い」の文案について検討し、内容を一部修正のうえ確認した。

(2) 「賛同とご協力のお願いリーフ」作成は、お願い文の内容を確認するとともに、賛同の「返信はがき」と募金の「振替用紙」をセットで効率的に活用できないか業者と話し合うこととした。

前述と並行して、郵便振替の口座開設、受取人払いの申請準備を行うことも確認した。

(3) 本会の運営に関する規定(案)を検討し、出された意見をふまえて事務局で整理することとした。

4. 本会ホームページの開設準備について

2種類の表紙サンプルをもとに検討を行い、出された意見をもとに費用も軽減しつつ業者との作業を具体化することとした。

5. 医学会総会に向けた課題と活動全体の日程案、活動体制などについて

2011年春までを想定した各課題別に大枠の日程スケジュールを確認した。

6. 第28回日本医学会総会会頭への要請について

要請文の内容を確認し、会議後速やかに要請することを確認した。

7. その他

(1) 欠席の吉中常任世話人より、①731部隊に関わる防衛省への資料公開と合わせて、各大学医学部教授会議事録の情報公開を求めることを検討してはどうかとの意見が寄せられたこと、及び、②医学教育学会誌への投稿論文（主張）「戦争と医学に関する医療倫理教育の課題」（吉中丈志、西山勝夫執筆）が掲載されることになった旨の報告が行われた。

(2) 「出欠確認 com」の活用について提案があり、今後検討することとした。

(3) その他

次回会議予定

* 第3回世話人会、2010年2月11日（木・祝）午後1時～4時 東京保険医協会で開催。

以上